

[ホーム](#) > [環境・まちづくり](#) > [環境・地球温暖化対策](#) > [環境保全](#) > [外来生物・特定外来生物](#) > 外来生物「キオビエダシャク」の被害にご注意ください

更新日：2025年10月20日

外来生物「キオビエダシャク」の被害にご注意ください

キオビエダシャクは、幼虫がイヌマキ（ヒトツバ）等の葉を食害する害虫であり、大量発生すると葉を食べつくし樹木を枯らす場合もあります。

大分市内において目撃の報告があり、被害の拡大が懸念されますので、ご自宅の庭にイヌマキ等がある方はご注意ください。

キオビエダシャクについて

幼虫はイヌマキやナギなどの葉を食害します。全葉食害を繰り返すと樹木が枯死する場合があります。

幼虫、成虫ともに触っても人体に害はありません。



特徴

卵：雌1頭の産卵数は1,200個内外で、樹皮の裂け目や枝の付け根の樹皮の粗い部分に1個ずつ産卵する。

幼虫：終齢幼虫は5～6齢で、体長7cm前後。振動を与えると吐糸し下垂する。

蛹：地面の腐食質中に深さ1～5cm程度潜り込んで蛹化する。

成虫：年4回程度発生し、昼行性で早朝から夕方まで活動する。

駆除方法

〈成虫・さなぎ〉

- 飛び回るため捕殺駆除が難しい
- 成虫やさなぎ、卵には幼虫駆除用の薬剤は効果が薄い
- さなぎは根元の土中にいるため、掘り起こして捕殺する（越冬する可能性がある）

〈幼虫〉

- 発生量が少ない場合は、木をゆすり、落ちたものを捕殺する
- 発生量が多い場合は、噴霧器により薬剤を散布する
【薬剤】トレボン乳剤（4000倍希釈）
ロックオン（1000倍希釈） など

	ロックオン	トレボン乳剤
主な特徴	薬剤のついた葉を食べた幼虫が死ぬため 効果はゆっくり ・残効期間が 1～3か月 ・チョウ目の幼虫や毛虫のみに効果がある ・100mlタイプで1,500円程度	幼虫に直接効くため 即効性がある ・残効期間が 1週間程度 ・幅広い害虫、樹木・農作物で使用可 ・100mlタイプで1,100円程度
駆除対象	イラガ、キオビエダシヤクなどの チョウ目の幼虫や毛虫のみに高い効果がある	キオビエダシヤクのほかカメムシやアブラムシなど 幅広い害虫に効果があり、樹木や農作物など幅広く使用できる
希釈倍率	1,000倍 薬剤1mlに水を入れて1Lにする 100mlタイプで100L作れる	4,000倍 薬剤1mlに水を入れて4Lにする 100mlタイプで400L作れる
駆除方法	噴霧器で 葉 にかかるように噴霧する ・直後に雨が降るときは避けたほうが良い	噴霧器で 幼虫 にかかるように噴霧する ※幼虫が葉の裏にいると薬剤がかからないので、木を揺らして落ちた幼虫にかけると効果的
※ 薬剤散布時の注意事項		
<ul style="list-style-type: none"> ● 薬剤の説明書を必ず読み、使用方法や注意事項を守りましょう。 ● 事前に近隣の方に周知し、通行人や車、洗濯物や農作物などへの飛散防止に配慮しましょう。 		

少量発生の時

- 木を揺すり落下した幼虫を捕殺（拾い集めて焼却等）

大量発生の時

1. 薬剤散布を行う前には、あらかじめ近所の方にも連絡し、また、周辺の農作物や通行人等に飛散しないように注意しましょう。
2. 薬剤散布は、風がないときに、日中の暑い時間を避け、朝夕の涼しい時間帯に行い、薬剤がムラなく葉の裏にもかかるようにしましょう。（幼虫は葉の裏にもいます。）
3. 薬剤の使用にあたっては、ラベルの説明書を必ず読んで、記載内容に従って正しく使用しましょう。
4. 薬剤の希釈倍数を間違えないように注意しましょう。（決められた希釈倍数より濃い濃度での散布はできません。）
5. 薬剤散布を行う際は、薬剤が体に付着しないようにマスク、手袋、帽子、長靴、雨合羽などを着用しましょう。
6. 薬剤散布後はただちにうがい、洗眼を行い、また、手足等を石鹸で洗い、衣類は下着まで着替えましょう。
7. 住宅地等における農薬使用については[農林水産省のリーフレット（PDF：1,008KB）](#)をご参照の上、周辺住民や子ども等へ健康被害が生じないよう注意しましょう。

お問い合わせ

環境部環境対策課

電話番号：(097)537-5622

ファクス：(097)538-3302